

大牟田市立高取小学校

1 本校のESDの特徴

本校区には豊かな自然が多く残っており、また、学習を支援して頂ける人材や施設も豊富である。このような中、本校では、環境教育と福祉教育を中心に据えながらESDに取り組んでいる。ESDを推進するにあたっては、主として生活科や総合的な学習の時間において、他者や社会、自然環境との関係性を認識し、「かかわり」「つながり」を尊重できる児童の育成をめざし取組を行ってきている。

環境教育では、自然を愛したり、自然を大切にしている地域の人と関わったりすることで、自然を大切にしたいという心を持ち、自ら環境へ働きかけ、環境を守り、受け継ごうとする協働的実践力を培うことをねらいとしている。

福祉教育では、人間尊重の精神を基盤にして、道徳的心情を育成し、福祉に対する理解を深め、お互いに助け合い、協力し合い、住みよい社会をつくるための実践的態度の育成をねらいとしている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

- | | |
|-------------------------|-------------|
| (1) 1年生「みんななかよし」 | (生活科) |
| (2) 2年生「レッツ・ゴー 町たんけん」 | (生活科) |
| (3) 3年生「わくわくドキドキお話探偵団」 | (総合的な学習の時間) |
| (4) 4年生「心のキャッチボール」 | (総合的な学習の時間) |
| (5) 5年生「高取クリーンタウンチャレンジ」 | (総合的な学習の時間) |
| (6) 6年生「ピースオンワールド」 | (総合的な学習の時間) |

3 特徴的な活動事例

< 3年生 総合的な学習の時間 単元「わくわくドキドキお話探偵団」 >

(1) 目標

- ①自分たちがお話会にチャレンジすることにより、進んで自分の考えを出したり、友達の意見を尊重したりして、主体的に取り組むことができる。
- ②聞き手を意識して、語ったり、歌ったりすることで生き生きと自己表現し、お話の世界の楽しさを伝えることができる。
- ③楽しいお話会にするために、相手意識を持って絵本を選び、その読み方や持ち方を工夫しながら、友達と協力して取り組もうとする態度を育てる。

(2) 実践の展開

①G Tから本の読み方、持ち方を学ぼう

○読書ボランティア「やすらぎの森」の方々によるお話会を聞き、お話会の進め方について理解するとともに、本の読み方や選び方についてのアドバイスをもとに課題を見つける。

《読み聞かせのポイント》

- ・絵をかくさない ・グラグラさせない
- ・ゆっくりはっきり大きな声で ・自分たちが楽しむ



②お話を開こう（1年生に、授業参観で、聖マリア幼稚園で）

○1年生へのお話を開く。

- ・「やすらぎの森」の方々のアドバイスをもとに、本校1年生を対象にお話会をする。
- ・よりよいお話会にするために、どうすればいいか話し合い、聖マリア幼稚園で行うお話会の計画を立てる。

○聖マリア幼稚園の園児さんへのお話を開く。



- ・1年生に行ったお話会を「読み聞かせのポイント」をもとに見直し、自分たちで見つけた課題を解決するための練習を行い、聖マリア幼稚園の園児さんへのお話会を行う。
- ・自分たちがお話会で学んだことをもとに、活動の報告をする計画を立てる。

③学習したことを発信しよう

○全校集会で学習したことを発表する。

- ☆「やすらぎの森」の方々から学んだこと
- ☆読み聞かせのポイント
- ☆お話や手遊び歌の発表
- ☆お話会を終えての感想

- ・活動を発表することを通して、これからの下級生との関わり方や自分たちの読書活動について、考えを振り返る。



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・子どもたちは課題解決の活動を通して、新たな課題を自分たちで見つけ、それらに取り組んでいくことで、友達と協力して学ぶことのよさや大切さを実感することができた。
- ・自分たちより年下の子どもたちに伝わるようなお話会をすることを通して、相手意識を持って活動することの大切さに気付くことができた。

○課題

- ・お話会をすることを通して、読書をする楽しさ、読書をする大切さなどを広く発信できるような活動へしていく必要がある。